

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)文化センター整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	1	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	犬塚俊雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	施設整備にあたって条例、規則の制定および備品等の準備、移転に係る準備が必要となる。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	平成25年度事業完了
②①に基づく取組み結果	各事務段階において意思決定をはかり、業務の適正な進行を管理する。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	(仮称)文化センター	意図(対象をどうするのか)	工事監理によりセンター整備工事の適正な実施を確保する。
②事務事業の概要	民間商業施設建替え計画に伴い、同建物内に文化ホール設備、公民館機能を備えた(仮称)文化センターを民間企業との協定締結により整備しようとするもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民芸術文化団体を中心として、長く文化ホールの建設要望があった。民間商業施設建替え計画を契機に設置することとなった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	建物工事進捗の監理・確認及び確認書による完了後の引渡し					
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	算定根拠
	i	設置面積	-	3,785	3,785	m ² 業務取得
	ii	工事進捗割合	-	0	100	% 業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算
事業費(千円)	48,925	880,050	金額(千円)	内容		0
国支出金(千円)	0	0	3,360	整備工事監理委託		0
県支出金(千円)	0	0	6,138	賃貸料		0
市債その他(千円)	0	0	868,250	整備工事(継続費)		0
一般財源(千円)	48,925	880,050	2,205	きり鎌ヶ谷市民会館外壁サイン取付工事		0

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	整備は終了し、事業担当に引渡しを行なった。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	1終了
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	整備は終了し、事業担当に引渡しを行なった。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	センター整備・駐車場整備・中央公民館一部解体	平成25年度事業費の状況(単位:千円)							
		計画事業費	予算額		決算額				
②計画に対する事業実績	建物の完成	961,354	884,809	当初	884,740	880,050	H24からの繰越	0	
				H24⇒25繰越	0				
③達成状況	完了			補正			現年分	880,050	
④未完了・非着手の理由				流用・充当	69				
				平成26年度への繰越額(単位:千円)					0

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	郷土資料館の管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	簡易修繕と展示替え、並びに教育普及の拡充等で工夫しながら事業を進めていく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	簡易修繕と展示充実、並びに教育普及の拡充等を工夫しながら事業を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	簡易修繕や講座の拡充等で工夫しながら事業を達成した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人達の足取りとその生活を知り、生涯学習や学校教育で活用してもらう。
②事務事業の概要	郷土の歴史、民俗等に係る資料を収集・調査・研究・整理を行うと共に資料の展示及び各種の講座、教室等を開催する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	生涯学習においては、市民の知的欲求を満たし文化財保護や郷土意識の心を育むこと。学校教育においては、教育現場での効果的な学習ができるように支援すること。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)郷土資料の収集 (2)常設展示 (3)企画展示 (4)講座・教室 (5)講師派遣						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	来館者数	5369	5168	6286	人	業務取得
	ii	展示事業実施回数	2	2	3	回	業務取得
	iii	教育普及事業実施回数	25	30	39	回	業務所得
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳			平成26年度予算	
事業費(千円)	7,320	6,667	金額(千円)	内容		11,233	
国支出金(千円)			27	市史編さん審議会委員報酬			
県支出金(千円)			6,640	施設管理運営費			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	7,320	6,667				11,233	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	ソフト(展示・教育普及)には市民ボランティアを活用し、ハード(施設)では簡易修繕制度を利用し整備する。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市民ボランティアを活用した企画を実施、簡易修繕制度を利用した施設整備を実施した。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	平成25年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H24からの繰越	
		H24⇒25繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由	流用・充当					
	平成26年度への繰越額(単位:千円)					

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	鎌ヶ谷市史編さん事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市史刊行計画に沿った事業を今後も進めていく	③平成26年度に取組む改革・改善内容	市史刊行計画に沿った事業を今後も進める。
②①に基づく取組み結果	市史刊行計画のとおり事業が進んでいる。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	先人の足跡を辿りその生活等を知ること で、ふるさと意識を持って生活すること。
②事務事業の概要	「鎌ヶ谷市史刊行計画」に基づき、郷土の歴史、民俗等に係る資料を収集・調査し、鎌ヶ谷市史の執筆・刊行を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市内に残されている自然、民俗などの資料や文化財を収集・保存し、展示することを目的とした郷土資料館が昭和62年に開館。生涯学習・学校教育において歴史の関心が高まる中、市史が完成していないことや資料の多くが展示できていない状況。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	(1)郷土資料の整理調査、史料調査(55件)、史料整理・目録作成(6,775点)を行った。 (2)約3万年前の旧石器時代から平安時代初期に至る市域の歴史を記した『鎌ヶ谷市史』上巻(改訂版)を刊行した。 (3)新たに発見、確認された重要な歴史事項についてまとめた『鎌ヶ谷市史研究』第27号を刊行した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習・学校教育の場での利用	6,344	6,815	8,414	人	業務取得
	ii	刊行物点数	2	2	2	点	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	13,018	12,178	金額(千円)	内容	9,040		
国支出金(千円)			1,668	印刷製本費			
県支出金(千円)			10,510	市史編さん委託			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	13,018	12,178			9,040		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	平成26年度市史研究第28号の刊行					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	2普通	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	市史刊行計画に沿って市史研究第28号を刊行する。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	鎌ヶ谷市史『上巻』[改訂版]の刊行。市史研究『第27号』の刊行	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	上巻750冊、市史研究650冊	14,415	14,415	当初	14,415	12,178	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	12,178
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
平成26年度への繰越額(単位:千円)							0	

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	郷土資料館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	6	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	文化・スポーツ課 郷土資料館			
施策	123芸術・文化の振興	担当課室長	立野 晃			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	外壁・屋上防水改修工事業	③平成26年度に取組む改革・改善内容	25年度に引き続き、長寿命化に関する基本指針に基づき、外壁・屋上防水改修工事を行う。
②①に基づく取組み結果	平成25年度中に完了予定であったが、26年度へ繰越となり、完成に向け実施中。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	全ての市民	意図(対象をどうするのか)	生涯学習や学校教育の場として、安全で快適な施設にする。
②事務事業の概要	「長寿命化に関する基本指針」に基づき、郷土資料館の外壁改修・屋上防水改修工事を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	文化財保護や郷土意識を育み市民の文化的要求を満たす施設であり、教育現場での効果的な学習を支援できる施設とするため、平成24年9月の公共施設の長寿命化に関する基本指針に基づき、改修工事を続けている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果	郷土資料館外壁改修・屋上防水改修工事に係る工事設計を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	工事設計の完成			1	件	業務取得
	ii	工事の完成			0	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算		
事業費(千円)	0	1,289	金額(千円)	内容	25,133		
国支出金(千円)			1,289	郷土資料館外壁・屋上防水改修工事設計委託			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	0	1,289			25,133		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	資料館の老朽化が進み、長寿命化に関する基本指針で雨漏れ防水工事を行う。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	古い、狭いなど利用者からの意見もあり、展示施設の拡充や保管施設の設置には多額の費用も必要。計画的に施設の改修・検証が必要である。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	外壁・改修屋上防水工事	平成25年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	工事設計まで完了。	26,649	26,649	当初	21,878	1,289	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		現年分	1,289
③達成状況	未完了			補正	4,771			
④未完了・非着手の理由	工事入札の不調			流用・充当	0			
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		25,133		